



一般社団法人次世代 センサ協議会・センシング技術応用研究会 合同開催

第6回 SENSPiRE フォーラム

「脳とAIの強みと弱み」－人々とAIエージェンツの共生社会に向けて－

次世代センサ協議会では、これまでにAIをキーワードとして、基礎理論からロボットを含むいろいろな応用に関するシンポジウムとSENSPiREフォーラムを開催してまいりました。それを通じて、過去の歴史から最先端の現状までを一通り俯瞰することができました。今回は、将来方向探索の一環として「脳とAIの強みと弱み－人々とAIエージェンツの共生社会に向けて」のテーマで沖縄科学技術大学院大学教授の銅谷賢治様にご講演いただいた後、引き続きパネルディスカッションを開催します。（企画：前田賢一）

- 開催日： 2026年2月19日（木） 13:30－16:30 オンライン開催
- 主催： 一般社団法人・次世代センサ協議会+センシング技術応用研究会（共催）
- 参加費： 一般／10,000円（消費税込み）
次世代センサ協議会会員+センシング技術応用研究会会員／無料
- 参加定員： 50名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- 参加申込： 事前登録制となっておりますので、ご希望の方は下記リンク先よりお申込みください
※センシング技術応用研究会会員様は <https://sensing-tech.org/> へお申込みください。
- 参加申込締切：2026年2月17日（火）
- 参加方法： 参加者には前日までに視聴用URLと資料URLをお知らせしますので、資料をダウンロードしてご参加ください

お申込みはこちらから

■プログラム

13:30－13:35 開会のあいさつ（次世代センサ協議会会長 小林彬氏）

13:35－14:35 講演 「脳とAIの強みと弱み」－人々とAIエージェンツの共生社会に向けて－
(沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット教授 銅谷賢治氏)

講演要旨：脳とAIはどこが似ていてどこが違うのか、AIの進化で人間社会はどう影響されるのか、これらを議論する上で重要なのは、人もAIもそれぞれが幅広い多様性を持つ存在であるという点である。この講演では、生態系での競合と協調、人間社会での権力分散と委任のしくみも参考に、多様な人々とAIエージェンツの社

会が健全に持続し進化するために何が必要かについて議論する。

14:35—15:00 質疑

15:00—15:10 休憩

15:10—16:25 パネルディスカッション 「AI の将来」

将来の AI 方式、将来の AI 応用、ロボット、フィジカル AI、将来のセンシング、
AI と社会の関係、その他

(パネリスト：銅谷賢治氏、林祐輔氏、山川宏氏、筒井博司氏)

16:25—16:30 閉会の挨拶（センシング技術応用研究会会長 筒井博司氏）

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります

講師プロフィール： 銅谷賢治氏

所属 沖縄科学技術大学院大学

役職 神経計算ユニット 教授

1961 年東京生まれ。東京大学卒、博士（工学）。東大工学部助手から 1991 年にサンディエゴに移りソーカ研究所などで脳科学を学ぶ。1994 年から京都の ATR 研究所にて自ら行動を学習するロボットの開発と、脳の学習のしくみの研究を行う。2004 年に沖縄に渡り沖縄科学技術大学院大学（OIST）先行研究代表研究者、2011 年 OIST 開学とともに神経計算ユニット教授、副学長に就任。2008 年から 2021 年まで Neural Networks 誌共同編集長、2011 年「予測と意思決定」、2016 年「人工知能と脳科学」新学術領域代表、2023-2024 年日本神経回路学会会長、Neuro 2022, ICONIP 2025 沖縄大会長を務める。2007 年学術振興会賞、塚原伸晃賞、2012 年文部科学大臣表彰科学技術賞、2018 年国際神経回路学会 Donald O. Hebb 賞、2019 年日本神経回路学会学術賞、アジア太平洋神経回路学会卓越業績賞受賞、2024 年 Ironman Hawaii 完走。

■お問い合わせ先：

一般社団法人次世代センサ協議会 事務局 (Email : office@jisedaisensor.org)